

チュートリアル課題 妊娠中の大きなお腹

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-06-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032234

2013年度 Block. 6

課 題 No. 1

課題名：妊娠中の大きなお腹

課題作成者：産婦人科学

小川正樹



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート1

会社員の佐藤彩子さん（30歳）は、原因不明の続発性不妊で治療後、妊娠したことで喜んでいますが。現在妊娠28週3日。最近、勤務先の同僚から「お腹大きいわね。」と言われるようになりました。妊娠26週の妊婦健康診査の際にも産婦人科の先生から、「赤ちゃんがちょっと大きいね。」と言われ、とても心配しています。

シート2

28週4日の妊婦健康診査を受診した際に、「羊水が多め」と「胎児が大きめ」であることから、75g経口糖負荷試験と腹部超音波検査を行うとの説明を医師から受けました。

シート3

妊娠糖尿病と診断されました。血糖の日内変動および血糖コントロールを目的として、妊娠29週に入院となりました。食事は1800kcal糖尿病食で管理されました。血糖の日内変動を別に示します。
経過中に羊水量は正常範囲内に復しました。しかし、胎児推定体重は、大きいままに推移しました。

シート4

胎児推定体重では3500g以上の巨大児が予想されたことから、相談の上で妊娠38週5日に分娩誘発することになりました。分娩の経過では続発性微弱陣痛を認めました。また分娩第3期には、胎児先進部の下降が2時間認められなかったことから、分娩停止と診断されました。そのため、児頭下降度+3、胎児矢状縫合は縦径に一致したところで、吸引分娩で出産しました。出産児は3750gの女児でHeavy For Date児でした。